

様式第9号 (刑訴第223条,第198条)

(乙)

供 述 調 書

住 居 [REDACTED] (電話 )

職 業 (電話 )

氏 名 永 迫 秀 高

昭和23年2月15日生(55歳)

上記の者は、平成15年10月9日 大分南警察署

において、本職に対し、任意次のとおり供述した。

1 私は、今言いました住居地に、 住んでおり、

平成14年4月1日から

をしております。

2 平成12年12月に湯布院町発注の防災無線工事の指名競争入札

があり、入札の結果、沖電気工業株式会社九州支社が落札受注して

おりますが、当社もこの入札で指名を受けており、指名後に沖電気

工業九州支社の大谷さんからの電話連絡により、沖電気の意向をく

んで応札していますので、これからそのことについて話します。

3 まず最初に当社の会社概要について話します。

当社は、

・電気通信機械並びに付属装置等の製造販売

・半導体製品、電気計測機器等の製造販売

・電気設備、電気通信工事の設計、施工、管理

などを主な業務とする電気通信機メーカーで、本社は、登記上は、

東京都三鷹市下連雀5丁目1番1号

大 分 県 警 察

長と徳永が営業活動をしていましたが、特にそのような目標が達成
できていないようで、私の耳には何も入ってきませんでした。
そして、平成12年12月に入ってから、当社は、湯布院町役場
から指名通知を受け、私から一応古賀所長に営業状況を確認したと
ころ、
全く汗かき行為ができていない。
とのことでした。
また、現場説明には、大分営業所の徳永が行っており、工事仕様
書を貰って来て、
その仕様書に自社の製品が組み込まれていない。
ことがはっきりと分かりました。
徳永はその仕様書を大分営業所に持って帰っておりますが、その
後ファックスで九州支社の私共の元に送って貰ったと記憶していま
す。
そうしたところ、指名通知を受けた数日後に、沖電気工業九州支
社の大谷さんから、私宛に電話が架かったのです。
このような電話は、通常受注優先権を主張する業者が電話を架け
ております。
沖電気の大谷さんは、私が鹿児島営業所の時に、彼も沖電気の鹿
児島支店に勤務しており、その頃からの顔見知りです。
それで、この時大谷さんから、
湯布院の防災無線は、うちが頑張っているので宜しく
お願いします。

大 分 県 警 察

つまり、
湯布院町の防災無線工事は、うちがチャンピオンです
ので下りてください。
などという電話が架かったのです。
あまり言葉を交わさなくても、この業界で長く営業をしている人
であれば、この位の言葉ですぐに分かります。
それで私は、こちらの方は主張できる内容が全くなかったことか
ら、
分かりました。
などと言って返事をしたのです。
そういうと、大谷さんは、
じゃ、また入れて貰う金額の電話をしますので。
などと言っておりました。
そして数日後に再度大谷さんから
金額は2億6000万以上でお願いします。
1回目で落ちなかった時は、2回目からは2～300
万引きでお願いします。
などと電話が架かりました。
これは、当支社の応札金額は、
2億6000万円以上でお願いします。
もし1回目で落札できなかった時は、2～300万円
引きの金額で入札してください。
という意味です。

大 分 県 警 察

	<p>このような連絡は、沖電気工業九州支社が確実に受注するために  行うのです。</p>
	<p>当支社としては、工事仕様書を元にして大分営業所で、一応積算  をしていると思いますが、具体的な金額は弾きだせなかったようで  した。</p>
	<p>それで私が、大谷さんから指示された金額に、  2000万円から3000万円位  を上乗せしたもっともらしい金額を決め、大分営業所の古賀所長ら  に伝えました。</p>
	<p>応札も地元の支店や営業所に任せていますので、このように古賀  所長らに伝えたのです。</p>
	<p>指示した入札金額については、勝負するなら、覚えています、  適当にその時に伝えていましたので、今はよく覚えていません。</p>
	<p>ただ、2000万から3000万円を上乗せしたもっともらしい  金額にしたのは、間違いありません。</p>
	<p>入札には、大分営業所の徳永を行かせております。</p>
	<p>この時本職は、平成15年8月28日大分県警察本部刑事部捜査第二課  司法警察員警部補大嶋幸司が湯布院町役場で差し押えた差押番号13の平  成12年度日出生台演習場周辺無線放送施設設置助成事業（国債分）入札  1件の1冊を供述人に示し、供述を求めた後、関係部分の写しを作成の上  本調書末尾に添付することとした。</p>
7	<p>今見せて貰った資料は、湯布院町役場から差し押えたものとの説  明を受けましたが、今回の防災無線工事に関し指名通知の月日や入</p>

大分県警察

札の結果が綴られています。	
この資料を見て、今回の防災無線工事に関し、指名通知及び現場	
説明が、	
平成12年12月11日	
であり、また入札日が	
平成12年12月18日	
に行われ、	
日本無線株式会社九州支社	287,000,000
沖電気工業株式会社九州支社	249,500,000
株式会社日立国際電気九州支社	268,000,000
株式会社東芝九州支社	270,000,000
富士通株式会社大分支店	310,000,000
三菱電機株式会社九州支社	辞退
落札者	沖電気工業株式会社九州支社
落札金額	249,500,000
となっており、沖電気工業株式会社九州支社が	
2億4,950万円	
により、1回目で落札していることが確認できました。	
また先程説明したように現場説明及び入札には、大分営業所の	
徳永信司	
が行っていることも確認でき、更に当支社の入札金額が	
2億8700万円	
であることも分かりました。	

大分県警察

	この金額については、先程も話したとおり、当時私が大谷さんか
	ら依頼された
	2億6000万円以上
	という金額を元に、私が適当に上乘せして決めたもので、今はつき
	りと思い出しました。
8	これまでお話したように、平成12年12月18日に行われた湯
	布院町発注にかかる防災無線工事の指名競争入札に関しては、指名
	を受けた後、沖電気工業九州支社の大谷さんからの依頼により、指
	定された金額以上で入札したことは間違いありません。
	当社としてもこの工事につき全く営業活動ができていなかったこ
	とから、大谷さんからの依頼を受けて下りたのです。
	永迫 秀高
	以上のとおり録取して閲覧して下さる。訂正の件
	を申し立て署名指印した。
	前同日
	大分県警察本部刑事部捜査第二課
	司法警察員警部補 小島 幹夫

大分県警察